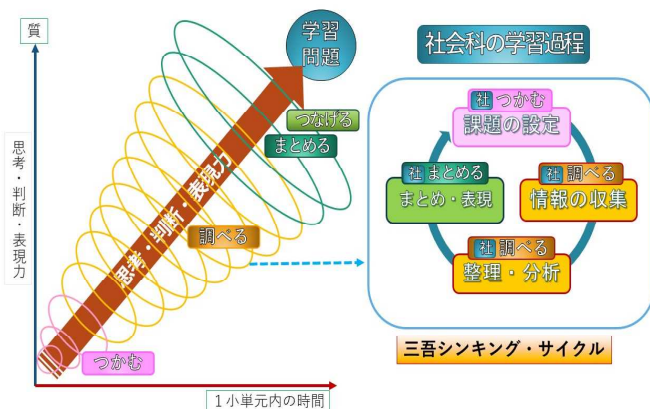


『思考力』をどのように育てるのかを考える

～墨田区立第三吾嬬小学校 校内研究資料（7月）～

金谷 政一

『三吾シンキング・サイクル』と社会科の学習過程



■三吾シンキング・サイクル

〔課題設定〕→〔情報の収集〕
→〔整理・分析〕→〔まとめ・表現〕
のスパイラルを通して思考・判断・表現する力を育てる。

■社会科の学習過程

〔学習問題をつかむ〕
→〔予想に基づいて調べる〕
→〔学習問題についてまとめる〕
→〔つなげる〕
○毎時間（節）の中も、この学習過程に沿って学習を進める。
○小単元を通した学習問題の解決に、この学習過程を適用する。

『思考力』はなぜ必要なのか？

■先行き不透明な時代の到来

・価値観の多様化、社会構造の変化など
〔ex.グローバル経済の崩壊、民主主義の課題〕

■よりよく自分らしく生きるために

「思考力」は、なぜ必要なのか？

- 社会や生活の場で、私たちは様々な課題に遭遇します。
- 出会った課題を解決するためには、「考える力」が必要です。

よりよく生きるには、「思考力」が必要！



「思考力」って何？

「思考力」～学習指導要領目標から～

- 3年・4年 ● 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力
- 5年・6年 ● 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力

【特色を考える】→特色を把握する思考
【相互の関連を考える】→事実と事実のかかわりを考える思考
【意味を考える】→社会事象の特色、関連、変化などから、社会的な働きを考える

■学習指導要領では……

■思考力とはどのような能力なのか？

「思考力」とはどのような能力か？

- 比較思考** ● 事象や事実を比べ、相違点や共通点を見付けること。
- 関連思考** ● 複数の事象や事実の、相互の関連や関係を説明すること。
- 意味思考** ● 事象の社会的な意味や背景、理由などを考え、根拠に基づいて説明すること。
- 分類・整理思考** ● 複数の事実や事象を、観点を設定して分類したり整理したりすること。

「思考力」とはどのような能力か？

- 帰納的思考** ● 複数の具体的事実をもとに、一般化、抽象化、概念化する思考。〔つまり、まとめる〕
- 演繹的思考** ● 帰納的思考の逆。概念を具体化する思考。〔例えば、具体的に表すと〕
- 総合的思考** ● 多様な事象を総括する思考。〔調べたことをまとめる時などに働く。〕
- 多面的思考** ● 事実や事象を、多様な角度や立場から考えること。物事の総体を捉える上で重要。

「思考力」とはどのような能力か？

- 予測思考** ● これから先のことを予測する思考。学習問題の仮説を立てることもこの思考。
- 仮定思考** ● 「もし～だったら」と仮の場面や立場を想定して考えること。
- 論理的思考** ● 筋道立てて根拠に基づいて考え説明すること。
- 公正な思考** ● 事象や事実を公正に見たり考えたりすること。バランス感覚をもって考えることも大切。

○様々な研究では「思考力の類型」について諸説あり

○思考の多くは、「操作活動の一環」として行われる。
授業では思考操作する活動場面を設け、具体的な活動を通して、児童は「考える」という知的な活動を展開する。

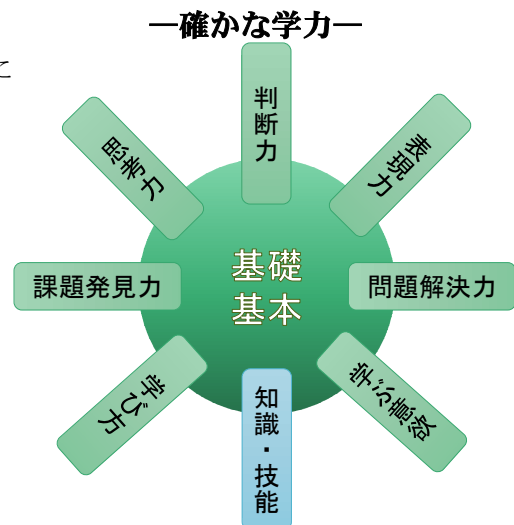
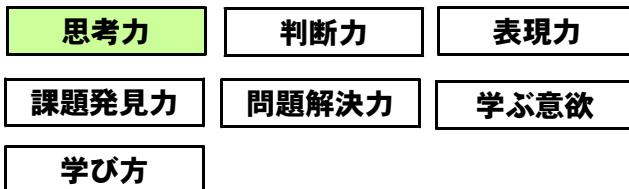
『思考力』を育てる授業のPoint

■教授で育てうる能力

知識・技能

※丸暗記ではなく、「習得した知識・技能を如何に使えるか」が求められている。

■教授しても育たない能力



■『思考力』は思考を伴う操作活動のプロセスを通して、児童自身の中に育つ。

「思考力」を育てる授業のPoint

「思考力」は思考操作活動のプロセスを通して育つ。なすことによって育つ能力

- 知識・技能** ● 教授して身につけさせる事のできる。
- 思考力** ● 教授しても育たない能力

例：比較思考
AとBを比べる操作活動を行うプロセスを通して、相違点や共通点を見付ける思考が働く。



『思考力』は『なすことによって育つ能力』

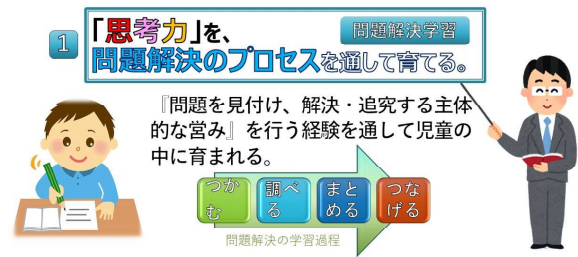
～聞いたことは忘れ、見たことは覚え、行ったことは理解する。～

1 問題解決学習を行う

問題解決学習とは、

- 問題を見つけ、解決・追究する主体的な学習です。
- 児童が問題意識をもち、自ら問題を解決する能動的な学習（＝主体的な学習）

「思考力」を育てる授業のPoint



2 問題解決学習に誘う『しかけ』を工夫する。

「思考力」を育てる授業のPoint

2 問題解決学習に誘う『しかけ』を工夫する。

主体的な学習を促すために、児童の興味・関心を喚起する段取りを用意する。

- 魅力的な教材を用意する。** 身近 指導目標を内包 探究活動の可能性 (効果的な「ネタ」の準備)
- 考えざるを得ないストーリー** 内発的な学習動機を生み出す「しかけ」づくり (疑問・矛盾・驚き・興味)
- 操作的な活動を設定する。** 操作的な活動場面を意図的に設定し、考えながら操作活動を行わせる。

■魅力的な『教材』の用意

- ・効果的な「ネタ」の開発と活用
- ・児童の興味・関心を喚起する教材
- ・指導目標に到達する教材
- ・探究活動が可能な教材

■考えざるを得ないストーリーの工夫

- ・小単元を通したダイナミックな探究活動のストーリーづくり

■操作的な活動を用意する

- ・思考を伴う、操作、資料活用、フィールドワークの取り入れ

3 問題解決学習を進める基礎力を培う。

■『見方・考え方』を指導する

見方 の指導

空間軸からの社会事象の見方 (地理的見方)

時間軸からの社会事象の見方 (歴史的見方)

関係軸からの社会事象の見方

(事象や人々の相互関係→社会システム)

考え方 の指導

比較 (対比、類比、因果) ……

帰納的な考え方、演繹的な考え方 他

「思考力」を育てる授業のPoint

3 問題解決学習を進める基礎力を培う。

問題解決学習を進めることができる基礎力を育てておく。

- 「見方・考え方」の指導** 追究の視点や方法を指導する。(空間軸・時間軸・関係軸/比較・関連・帰納・演繹…)
- 言語能力の育成** 表現しなければ思考内容が伝わらない。(文章・図・絵・統計・話す…)
- 基本的な知識・技能の習得** 思考するための材料やそれを収集したり表現したりする技能が無いと思考が進まない。(内容の理解を伴った知識の重要性、知識の定着)

3年教科書では、

「比較する」、「関連づける」、「総合する」が掲載されている。

■言語能力の育成

- ・思考したことや内容は、何らかの手段で可視（聴）化されないと他に伝わらない。
- ・言語化することで、自らの考えが明確になる。

■知識・技能の定着

- ・習得している知識や技能を活用しながら根拠のある思考が行われる。
- ・墨田の児童は、知識・技能の定着に弱さが……。

4 問題解決学習を進める留意点

「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、「児童に任せる授業づくり」を！

「思考力」を育てる授業のPoint

4 問題解決学習を進める留意点。

「主体的・対話的で深い学び」を実現するには、もっと「児童に任せる授業づくり」を！

「自力解決」の時間の確保	操作、データ処理、考える、言語化する等の時間を十二分に確保する。
児童に任せる時間の保証	意見交換を重視し、学び合い学習を行う時間を保証する。〔主体性・多様性・協働性の学び〕
指導することを恐れない	旬を見極め、指導や教授が必要な場合は期を逃さず実施する。〔汎用的な理解を進めるために〕 〔補助資料、補足、対案、欠かせない知識や要件、一般論……〕。

■「自力解決」の時間を確保

- ・操作、思考、表現するには時間が必要。
- ・授業のねらいは、「個の学習の確立」

■児童に任せる時間の保証

- ・自力解決 → 学び合い
→ 自らの考えや学習の仕方のブラッシュアップ
- ・主体性、多様性、協働性ある学びの実現

■指導することを恐れない

- ・旬を見極める。
- ・必要なときには、機を逸せず指導を行う。

授業づくりの参考に

付録

授業づくりの参考になる
テレビ番組



NHK「英雄たちの選択」

テレ東「出だ！アド街ック天国」



■課題について考えを述べ合う学習に

■帰納的な学習の進め方に